



同窓会会報

発行

福島成蹊高等学校
同窓会
福島市上浜町5-10
電話(522)2049
発行人 石井都
印刷所 (有)三共印刷所



「桃李祭」



「総会・懇親会」



「平成30年度 入会式」



「桃李祭」



「総会・懇親会」



「入会式 誓いの言葉」

会員の皆様には、ますますご清祥の事と心よりお慶び申しあげます。

昨年二月二十八日、本校山田記念体育館において、同窓会入会式を行い三百十二名の新同窓生が入会しました。希望に満ち溢れたその姿に、やがて会の運営に力を借りてくれる日が必らず来る事を熱望しました。

六月二十三日総会・懇親会を行ないました。

懇親会は「同窓生による同窓生のための同窓会」をコンセプトに、同窓生のお店紹介のコーナーを設けました。

各店舗のパンフレット並べ商品展示をして、皆様に見て頂こうと初の試みを致しました。

来場された方々の瞳の輝きと感嘆の声を聞き、役員一同、達成感で胸が熱くなりました。まだ紹介しきれないお店が、

その母校の同窓会に、更なる御支援、御協力の程をよろしくお願ひ致します。

会員の皆様には、ますますご清祥の事と心よりお慶び申しあげます。

多々あると思います。皆様の情報を、お待ちしています。

九月八日、まるで真夏の様な暑さの中、生徒会主催の桃李祭が行なわれ、私達は、同窓会室を開放して、皆様をお待ちしました。昭和、平成の卒業生の方達が当時の制服や担任の先生、何故か変わらない先生方のニックネーム、部活動等、まるで、旧知の友の様に話が盛り上り正しく、これが同窓生の有るべき姿なのです、と、心和む一日でした。

いつの時代も学校教育を取り巻く環境は、日々変化しております。そのような中で、私立高ならではの柔軟さで、大きく躍進し続けている私達の母校。



「同窓生による
同窓生のための同窓会」

同窓会会长 石井 都
(昭和41年度卒)



令和元年度総会・懇親会

平井 富美子

(昭和62年度卒)

佐藤 規予子

(平成4年度卒)

早いもので、卒業して二年もの月日が流れようとしています。同窓会の案内を戴いた際、ふと懐かしく当時の色々な事を思い出しアルバムを手にし、恩師達に会いたい。そう思い参加を決めました。

当日、初めての参加ということもあり期待と不安があり会場へ足を運びましたが想像していたのと違い、幅広い年代の卒業生との交流に楽しい時間を過ごすことが出来ました。懐しい先生方にも会え嬉しい思います。



鈴木 徹

(平成18年度卒)

今回、始めて同窓会総会に出席させていただきました。

久しぶりにお会いした先生方や同級生、それから初めてお会いした先生ともいろんな話をることができます。私が息子も入学し勉強と部活で毎日忙しい学生生活を満喫している様です。息子を見ていると羨ましく高校時代に戻りたいと思う事があります。



阿部 優樹

(平成30年度卒)

今回はこの様なすばらしい会にお招きいただきました。想像がとうございました。想像していたよりもとてもなごやかで過ごさせて頂き感謝しております。我が息子も入学し勉強など、大人となつた今だからこそできる話題で盛り上がりました。

また、最近の成蹊高校・中学校のことや、後輩たちの活躍を聞くこともでき良かったです。これからも皆様のますますのご活躍を期待しています。



荻野 史郷

(平成30年度卒)

私は平成三十一年度卒業生として今回、初めて同窓会総会に参加させていただきました。

そして、当時の友人やお世話になつた先生方と出会う事ができました。高校時代の思い出話しや現在の友人達の話でとても盛り上がる事ができました。

今回、参加させていただきとても楽しかつたです。



「同窓生のお店紹介」



ご挨拶

理事長 高橋幸七

私ども(学)福島成蹊学園は、大正、昭和、平成、令和と四つの元号の下、百六年の歴史を重ね、今に至っています。この間、女学校、女子高等學校、そして現在の男女共学下での中学校・高等学校と学校の形態や構成に変遷を経つも、校訓「桃李不言下自成蹊」は不易たる教えとして一切変わることなく、卒業生二万七千余名を世に輩出することができました。

令和元年の成蹊



校長 本田哲朗

同窓会の会員の皆様方には、常日頃、物心両面に渡るご支援を賜り、衷心から厚く御礼申し上げます。

会員の皆様にリアルタイムの成蹊をお知らせ致します。生徒総数は中高合わせ約千百名です。男女比は概ね半々で、明るい生徒が多いです。普通文理・特進・中高一貫の4つのカテゴリーで教育しています。今春、東京大学にも

合格し、これで東京都区内の国公立私大的有名大学の総てを制覇しました。部活は陸上競技部・水泳部が全国大会常連で、また、上位入賞者も出ています。研修旅行も、カナダ・台湾・ベトナム・カンボジア・マレーシアと、総てのコースが海外で実施しています。今後も更に進化しますのでどうかご期待ください。

現在、学園運営に関わっている百九名のスタッフ全員は、引き続き、品格高き「次なる桃李の人」の育成に向け、その責任を果たすことをお約束申上げ、ご挨拶とさせていただきます。

同窓会のすべての皆様は、それぞれの人生において、成長著しく、多感な年ごろを、「桃李の教え」を共通のものとして過ごされた方々ばかりです。

福島成蹊高等学校同窓会一般会計決算書

平成30年4月1日～平成31年3月31日

1. 収入金額 2,906,051 2. 支出金額 1,570,648 3. 差引金額 1,335,403

収入の部 (単位:円)

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
会費	1,248,000	1,248,000	0	4,000×312人
運営協力費	118,010	118,010	0	29年度運営協力費より
預金利子	500	16	△484	普通預金・定期預金利子
雑収入	200,000	293,300	93,300	総会会費等・名簿売上等
繰越金	1,246,725	1,246,725	0	前年度より繰入
合計	2,813,235	2,906,051	92,816	

支出の部

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減	適用
事業費	800,000	396,949	△403,051	総会、懇親会
会議費	100,000	68,373	△31,627	役員会、入会式等
会報発行費	200,000	157,982	△42,018	会報第25号
協力費	300,000	259,572	△40,428	全国大会祝金・卒業記念品等
交誼費	50,000	2,100	△47,900	慶弔費
通信費	400,000	227,385	△172,615	郵便料、名簿補助
旅費	0	0	0	
事務費	200,000	141,223	△58,777	印刷費、事務用品等
特別積立費	300,000	300,000	0	
予備費	463,235	17,064	446,171	電気ポット
合計	2,813,235	1,570,648	1,242,587	

特別積立金(平成31年3月31日現在) 3,542,155円
運営協力費(平成31年3月31日現在) 54,370円

上記帳簿及び関係書類について監査の結果正確であることを認めます
令和元年5月7日 会計監査 渡邊八千代 関根綾子

会務報告

平成30年

4月10日	入学式出席
14日	定例役員会 会報第24号発送 会計監査
5月12日	定例役員会
6月9日	墓参(初代・4代校長) 定例役員会
24日	同窓会総会開催 (母校ギター部演奏)
7月21日	定例役員会
9月8日	定例役員会
10月13日	定例役員会
11月10日	定例役員会
12月8日	定例役員会

平成31年

1月11日	バス贈呈式
12日	定例役員会
29日	新幹事顔合わせ
2月9日	定例役員会
28日	同窓会入会式 卒業式出席
3月1日	会報第25号発行



〈生徒さんの作品〉



〈添田さんの作品〉



春
風
晴
時
水
亦
百
轉
千
尋
紅
紫
綠
高
位
隨
意
移
山



春
風
晴
時
水
亦
百
轉
千
尋
紅
紫
綠
高
位
隨
意
移
山

小学生の書きぞめに合わせて、今まで少しづつお手伝いをしてきました。元気なお子さんも、筆を握ると真剣になります。いろいろ考へながら、お手本に向かっていふ姿がとても可愛いですよ。

定年を迎えるのを機に、小学生を対象とした教室を八月より開く予定です。曜日はご都合に合わせて予定しております。機会がありましたら、いらしてください。



「あなたにしか出来ない仕事」と極上のおだてに乗つて始まつたラジオ福島の『むかし話』が去る十月三日をもつて四十年を迎えました。

脚本作りが大仕事。毎日携わるのが基本。長く続けられたのは、マイクの前で演じるだけの久保乙秋と結婚する俳人の久保乙秋と、表現の楽しさは知つて居りました。

俳句の黒田杏子先生、高野ムツオ先生等の人間性に触れた事で俳句に深さを求める様になりました。現在は藍生会員、小熊座同人、北斗の会、福島ベンクラブ五月会に所属。乙の会主宰、翅の会、等。

私は常に出会う人に恵まれたおかげで、受賞も出来、今がある。俳句の魅力を多くの人に発信して行きたいと思う。

添田 弘子（昭和44年度卒）

パッチワーカ

手作りネクタイの残布で、自己流で作品を作ったのが、パッチワーカの始まりでした。

子供の父兄の役員の方々に教えたのがきっかけで資格を取得し教室を開いて二十六年になります。

教室は月曜から土曜まで四～五名の人数で教えています。私は何度も大手術を受け命の大切さを教えてもらいました。そんなことで私の作品には必ず動物を入れております。教室の名前は「ソエタキルトスタジオ」です。

佐藤 文恵（昭和48年度卒）

書道

卒業から、四十余年が過ぎました。高校生の頃は、バレーボールに明け暮れ、子供が成長してからもママさんバレーで、楽しい日々を過ごしました。

趣味と実益を兼ねたものは無いかと考えていたところ、偶然にも、ご近所に若草会の素晴らしい先生が越されていらしたので、師事を仰ぎ「漢字」「細字」の師範を取 得させて頂きました。

高校の頃は、五時起床、レッスン場で練習後登校し、学校からまたレッスン場へ向かうバレエに打ち込む毎日でした。卒業後、バレリーナ、講師として活動し、結婚、出産を期に福島市、伊達市でバレエ教室を開講しました。

現在は大人のバレエクラスへ通われている方もたくさんいらっしゃいます。皆さんも体験レッスンでバレエの魅力を感じてみませんか。

私の幼い頃からの夢はバレリーナになる事でした。

高校の頃は、五時起床、レッスン場で練習後登校し、学校からまたレッスン場へ向かうバレエに打ち込む毎日でした。卒業後、バレリーナ、講師として活動し、結婚、出産を期に福島市、伊達市でバレエ教室を開講しました。

令和元年、福島県文学賞正賞を俳句の部で頂きました。俳人の久保乙秋と結婚するまでは、中合のチーフデザイナーをしており、表現の樂しさは知つて居りました。

私は現在、FTVカルチャーセンターの俳句講師として、日々俳句に生かされています。

令和元年、福島県文学賞正賞を俳句の部で頂きました。俳人の久保乙秋と結婚するまでは、中合のチーフデザイナーをしており、表現の樂しさは知つて居りました。

羽田 輝子（昭和62年度卒）

バレエ教室

**第72回県文学賞俳句部門受賞
久保 翔鼓**

同窓生の功績

吉森 和子（昭和25年度卒）

「おばあちゃんのむかし話」40年

あなたにしか出来ない仕事」と極上のおだてに乗つて始まつたラジオ福島の『むかし話』が去る十月三日をもつて四十年を迎えました。

私は英語担任の塙田先生の前で緊張して立つておりました。先生は英語の採点用紙を手に「君は芝居はうまいが英語はだめだね」とずばり一言。以

來、私は英語オンチのまま。今私は、「さちに続けよ」とのラジオ福島への限りない感謝と、恩返しの模索中です。



全日本書道芸術展【デザイン書道部門】入選作品

私は幼少より書道を続け、結婚を期に主人の兄夫婦が営む岸波酒店でオリジナル酒ラベルを書くようになりました。十年程前に東京の書道家の方とのご縁がきっかけで「デザイン書道」を学ぶようになりました。現在は指導も行っています。インパクト・可読性があればお手本なしの書道。自由に文字表現ができるのが魅力です。

日本の伝統文化も現代風にアレンジされる時代。PCやスマホが普及している社会ですが、字を書くことは一生続くのです。これからも筆文字の良さを継承して行けよう精進して参ります。

岸波 恵子（昭和54年度卒）

書道

酒井 久美子（平成4年度卒）

茶道

現在、母の跡を継ぎ、裏千家茶道教室をやっています。中学生から八十歳位までの弟子さんと、楽しくお稽古しています。「茶道」と聞くと堅苦しいイメージを持つ人が多いと思います。しかし、ただ茶室の畳に座り、季節を感じながら、静かにお茶を頂く事で、心が開放される感覚があります。成蹊には素晴らしいお茶室があります。一人でも多くの方が茶道の良さを感じて頂ける事を、切に願います。



長島 久子（昭和39年度卒）

一クラス会をひらいてー

各教室のご案内

- ソエタキルトスタジオ 福島市上野寺字道下40-2 TEL.024-533-9550 10:00~ 休:日曜日
- 書道教室 伊達郡桑折町堰合6 TEL.024-582-4117
- 羽田耀子バレエ教室 平野教室／福島市飯坂町平野字三角田19-7 梁川教室／伊達市梁川町字小梁川27-1 TEL.024-563-3635 10:30~20:30
- デザイン書道 恵泉 福島市天神町1-24 きしなみビル2F TEL.024-534-3940 (きしなみ酒店)
10:00~12:00 / 13:30~15:30
- 茶道教室 福島市御山 TEL.090-2026-5506 ※稽古日等は要相談(月1回~可能)

担任の佐藤秀子先生は来年八十歳を迎えますが、増え楽しまれている様です。又、日々お元気で、趣味の手芸など楽しさが詰まっている様です。又、クラスメートの新体操、フラダンス、日本舞踊、カラオケの披露や、先生手作りのお手玉のプレゼントもあり話の尽きない楽しいひと時を過ごす事が出来ました。

最後に校歌を合唱し、再開を誓いました。



令和元年十月二十三日(水)摺上亭大鳥にて、昭和三十九年度卒業三年二組クラス会を開催致しました。今年は台風、大雨と気候不順の秋でしたが、当日は、朝からお天気に恵まれ県内外から合わせて十四名の参加でした。



また、そのような友達を作ることが出来た高校時代にまた戻りたいとも思いました。

しかし、また一年後の成人式で会えた時に、何か良い報告ができるよう、前に進み成長していきたいと思いました。

柏木 萱心（平成29年度卒）

柏木 萱心

(平成29年度卒)

組同窓会を道頓堀八木田店で平成三十一年三月十七日日曜日に実施し、学年主任の大山里美先生、担任の鈴木智美先生にも出席して頂き二十三名の参加でした。卒業してから約一年後の再会になりました。

たった一年と思うかもしれないが、せんが、されど一年、お互いにまた会いたいと思える友達が居ることを再確認できました。

また、そのような友達を作ることが出来た高校時代にまた戻りたいとも思いました。

組同窓会を道頓堀八木田店で平成三十一年三月十七日日曜日に実施し、学年主任の大山里美先生、担任の鈴木智美先生にも出席して頂き二十三名の参加でした。卒業してから約一年後の再会になりました。

たった一年と思うかもしれないが、せんが、されど一年、お互いにまた会いたいと思える友達が居ることを再確認できました。

令和元年度進路状況

進路指導部部長 長南 仁吾

令和元年度の進路状況(令

和二年二月十七日までの合格者)は下記の通りです。

国公立大学では、室蘭工業大学二名、

東北大学三名、福島大学三名、

信州大学一名、会津大学一名、

福島県立医科大学医学部二名、

計十一名が合格しています。三

月には国公立大学の前期試験・

中期試験・後期試験などの合格

発表も行われます。ご期待くださ

い。私立大学では、東北学院

大学、白鷗大学、埼玉工業大学、

日本大学、神奈川大学などに多

くの生徒が合格しています。私

立大学合計では三百十三名が合

格しています。今後も二月、三

月実施の一般入試で、多くの合

格が見込めます。文科省外の防

衛医科大学校などにも合格して

います。短期大学や専門学校で

も合計八十四名が合格していま

す。就職では、就職を希望する

生徒はすべて内定となりました。

十四年連続で就職内定二〇〇%

を達成できました。

今後も、三年生全員が合格す

るまで、教職員一同支援してい

令和元年度 進路状況

(令和2年2月17日現在(一部の学校のみ記載))

国 公 立 大	11名	室蘭工業大、東北大、福島大、信州大、会津大、福島県立医科大
文部科学省管轄外の大学校等	16名	防衛医科大学校、防衛大学校、海上保安学校
私 立 大	313名	石巻専修大、仙台大、東北学院大、東北工業大、東北生活文化大、東北福祉大、東北医科薬科大、宮城学院女子大、東北文化学園大、尚絅学院大、仙台白百合女子大、医療創生大、奥羽大、郡山女子大、福島学院大、国際医療福祉大、自治医科大学、白鷗大、埼玉工業大、城西大、日本医療科学大、城西国際大、千葉工業大、千葉科学大、青山学院大、桜美林大、国際基督教大、駒沢大、芝浦工業大、成蹊大、専修大、拓殖大、玉川大、中央大、帝京大、東京女子大、東京理科大、東洋大、日本大、法政大、東京都市大、武蔵野大、早稲田大、神奈川大、神奈川工科大、関東学院大ほか
短 期 大 学	17名	会津大短期大学部、仙台青葉学院短大、郡山女子大短期大学部、桜の聖母短期大、福島学院大短期大学部、千葉経済大学短期大学部、共立女子短大
専 門 学 校	67名	福島県立総合衛生学院、大原看護専門学校、福島看護専門学校、国際医療看護福祉大学校、福島医療専門学校、国際アート&デザイン専門学校、国際ビジネス公務員大学校、仙台医療秘書福祉専門学校、仙台大原簿記情報公務員専門学校、仙台ビューティーアート専門学校、日本外国语専門学校、日本調理技術専門学校、福島介護福祉専門学校、宮城県農業大学校ほか
就 職 内 定 者	10名	福島県警察官、陸上自衛隊、JAふくしま未来、アート引越センター、(株)オギノ、PPFA福島FC、福井工業、(有)グリーンアース

平成31年度 合格状況

(一部の学校のみ記載)

国 公 立 大	56名	北見工業大、弘前大、東北大、山形大、福島大、宇都宮大、埼玉大、千葉大、東京海洋大、電気通信大、東京大、東京外国語大、新潟大、金沢大、富山大、公立はこだて未来大、公立千歳科学技術大、名寄市立大、岩手県立大、宮城大、秋田県立大、福島県立医科大、会津大、前橋工科大、埼玉県立大、神奈川県立保健福祉大、横浜市立大、都留文科大、兵庫県立大
文部科学省管轄外の大学校等	23名	防衛医科大学校、防衛大学校、水産大学校、東北職能大学校
私 立 大	471名	仙台大、東北学院大、東北工大、東北福祉大、東北医薬大、宮城学院女子大、仙台白百合女子大、東北文化学園大、尚絅学院大、東北芸工大、東北公益文科大、いわき明星大(医療創生大)、郡山女子大、福島学院大、国際医療福祉大、白鷗大、埼玉工大、千葉工大、青山学院大、慶應大、国際基督教大、芝浦工大、上智大、中央大、東京理科大、東洋大、日本大、法政大、明治大、立教大、早稲田大、神奈川大、日本福祉大、立命館大、関西学院大ほか
短 期 大 学	24名	山形県立米沢女子短大、会津大短大部、仙台青葉学院短大、郡山女子大短大部、桜の聖母短期大、福島学院大短大部ほか
専 門 学 校	70名	福島県立総合衛生学院、国際医療看護福祉大学校、太田看護専、大原看護専、福島看護専、ボラリス保健看護専、仙台徳洲看護専、日本外国语専、仙台ウェディング&ブライダル専、国際アート&デザイン大学校、新潟法律大学校、仙台大原簿記情報公務員専、国際ビジネス公務員大学校、日本調理技術専、東京ベルエボック美容専ほか
就 職 内 定 者	8名	自衛官一般曹候補生、福島市消防 初等、福井工業、サカイ引越センター福島 ほか



本田 淑花
東京海洋大学 海洋工学部
(平成30年度卒)

私は今、東京駅から二駅という大都会の江東区のキャンパスで学んでいて大学生活を心から満喫しています。私の大学は他大学にはない独自のカリキュラムが充実していて、端艇実習や遠泳実習、夏休みは船で横浜を出て北海道や各地に寄港後、神戸で下船する一ヶ月生活を楽しみに、後輩達も頑張つて欲しいです。



木村 風
東京大学 理科二類
(平成30年度卒)

東京大学に進学し、毎日充実した日々を過ごしています。日々大学の講義で触れる学問は常に新鮮で、思考の幅が広がっていくのが実感できます。二年生以降は物理学を研究対象としていくつもりです。日常生活においても、一人暮らしの大変さに直面しています。大学生活はまだ三年以上残されていますが、将来に向けて充実した時期にしていきたいと思います。

キャンパスライフ

大会の結果・成績が随時掲載されています。なお、本校HPでは各種大会の結果・成績が随時掲載されていますので、ご参照ください。

クラブ紹介

特別活動部部長 鈴木 祥之

昨日の、日本スポーツ界の活躍に歩調を合わせるように、

本校のクラブ活動も躍進を続けています。運動系クラブで

は、南部九州インターハイに、

陸上競技クラブから七名、水

泳クラブから八名の生徒が出

場し、また茨城ゆめ国体でも

水泳クラブの生徒が入賞を果

たすなど、好成績を維持し続

けています。また硬式野球ク

ラブは、秋季高校野球福島県

大会で準優勝を飾り、創部以

来はじめて秋季東北地区高等

学校野球大会へと駒を進めま

した。それ以外の運動系クラ

ブの多くも、各種県大会で上

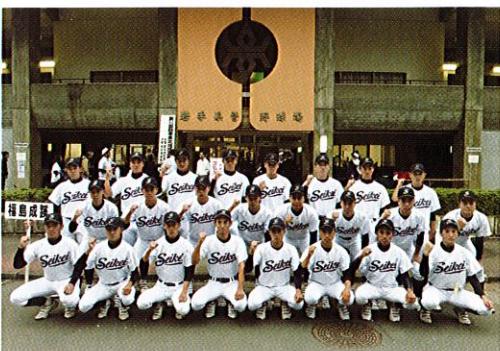
位の成績を残しています。文

化系クラブでは、ギタークラ

ブが二十八年連続で全国ギ

ターコンクールに出場し、昨

年の福島県高等学校総合文化祭優秀校公演でも見事な演奏を披露するなど、各クラブとも活発な活動を展開しています。



第24回東北高等学校新人陸上競技選手権大会 令和元年9月27日～29日 於 アスレチックスタジアム



野球部

監督 金子 淳

顧問 菊地 忠

水泳部

顧問 大竹 渉

演劇部

顧問 福田 和久

我々野球部は目的を「人間形成」、目標を「甲子園」において日々活動しています。

一時期、部員が十名まで減りましたが、今年度五十五名となっています。夏の選手権二年連続ベスト16など徐々に力をつけて、今秋は県大会で準優勝、初の東北大会出場と目標に向けて前進することができます。

『ひたむきに・爽やかに』を掲げ、成蹊野球で皆さんを魅了することができます。そして甲子園から勝利の校歌を届けることができるよう、今後もより一層の努力を重ねていきます。応援よろしくお願いします。

私達、福島成蹊高校陸上部は今シーズン県北大会男女共に総合優勝・県インターハイ男子総合二位、女子総合優勝を獲得し、沖縄インターハイに七名が出場しました。

一人が高い目標を持ち、厳しいメニューにも皆で切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。来シーズンの目標は、県北・県共に男女総合優勝を獲得し、静岡インターハイに、

より多くの選手が出場し入賞・優勝することです。福島成蹊生、陸上競技部という自觉を高いレベルで持ち、日々の生活を全力で取り組んでいきます。

我々水泳部は、本年度多くの新入部員を迎えて、一人ひとりがそれぞれの目標に向かって、日々切磋琢磨しています。

今年度の活動で特筆されるべきは、第六七回東北高等学校選手権における、男子総合優勝です。これは福島県勢としては、実に半世紀ぶりの快挙となります。この勢いそのままに、熊本県で行われた南

部九州総体に参加しました。また、「いきいき茨城ゆめ国体」では、少年女子B五〇M自由形で、八位入賞を果たすことができました。

次年度も、さらに上を目指して活動してまいります。応援よろしくお願いいたします。

県北地区は県内でも有数の激戦地区ゆえ、まずは地区大会突破、県大会出場を目標にこれからも創作活動に励んでいきたいと考えています。

我々野球部は目的を「人間形成」、目標を「甲子園」において日々活動しています。

一時期、部員が十名まで減りましたが、今年度五十五名となっています。夏の選手権二年連続ベスト16など徐々に力を

をつけ、今秋は県大会で準優勝、初の東北大会出場と目標に向けて前進することができます。

私達、福島成蹊高校陸上部は今シーズン県北大会男女共に総合優勝・県インターハイ男子総合二位、女子総合優勝を獲得し、沖縄インターハイに七名が出場しました。

一人が高い目標を持ち、厳しいメニューにも皆で切磋琢磨しながら練習に取り組んでいます。来シーズンの目標は、県北・県共に男女総合優勝を獲得し、静岡インターハイに、

より多くの選手が出場し入賞・優勝することです。福島成蹊生、陸上競技部という自觉を高いレベルで持ち、日々の生活を全力で取り組んでいきます。

我々水泳部は、本年度多くの新入部員を迎えて、一人ひとりがそれぞれの目標に向かって、日々切磋琢磨しています。

今年度の活動で特筆されるべきは、第六七回東北高等学校選手権における、男子総合優勝です。これは福島県勢としては、実に半世紀ぶりの快挙となります。この勢いそのままに、熊本県で行われた南

部九州総体に参加しました。また、「いきいき茨城ゆめ国体」では、少年女子B五〇M自由形で、八位入賞を果たすことができました。

次年度も、さらに上を目指して活動してまいります。応援よろしくお願いいたします。

県北地区は県内でも有数の激戦地区ゆえ、まずは地区大会突破、県大会出場を目標にこれからも創作活動に励んでいきたいと考えています。



校歌

作詞 坂内
作曲 古閑
裕而

わが学び舎の
 名もゆかし
 桃李の花の
 匂へれば
 ものいはねども
 慕ひくる
 かけやこみちと
 なりぬべき

十九八七六五四三二一组
組組組組組組組

福篠福高平古田板武高渡佐白河佐佐佐
井木本津川原倉田橋辺藤井原藤藤坂見木
隼里り魁萌航あは佳百美優昂菜大
人奈さ人亜大りき子蓮音聖衣太南碧空蓮萌瞭

新幹事

昭和五十一年から四十年間
国勢調査員、労働力調査員など
を務め正確な統計把握に貢
献されました。
信頼が伝わるよう、誠意を
持つて取り組んでこられたそ
うです。

叙勲おめでとうございます

瑞宝単光章受章

加藤京子

(昭和32年度卒)



編集後記

令和になり最初の会報をお届けします。たくさんの方々のご協力を頂き、同窓会会報26号を無事に発行する事ができました。今号は「教室紹介」の特集に致しました。発行にあたり、寄稿してくださった皆様に感謝申し上げます。

◆退職される先生方◆
教諭菅野朝宏
教諭佐藤広大

追悼

令和二年一月十二日

元校長 菅野悦雄先生
ご逝去されました。
ご冥福をお祈り申し上げます。

会報は昭和53・63・平成22・23年度卒業の皆様と「教室紹介」の方のクラスに送付いたします。今後も卒業年度を追って順次送付する予定です。

皆様にご協力いただきました運営協力費は会報送付等に使わせていただいております。引き続きご協力お願いいたします。

また、クラス会開催の際は、名簿を事務局に提出して下さい。通信費として一千円を補助いたします。

事務局だより

令和2年度総会のお知らせ

今年度は総会のみ行ないます。

日時／令和2年6月14日(日)
午前10時30分～11時30分
場所／福島テルサ 大会議室
※諸経費として当日1,000円
徴収させていただきます

問合わせ先
福島成蹊高等学校 同窓会事務局
TEL 024-522-2049